



9月定例会

P2 下水道使用料減額廃止へ

P5 29年度わが村の家計簿はいま！
決算

P8~15 一般質問 村政に **喝**

P17 村民インタビュー
蚊屋島神社 総代さん

おめでとうございます
結婚60周年!!

使用料の特例

10%減額
廃止へ

討論

反対

三島尋子 議員

国民は、消費税をはじめ負担を強いられ、景気が良くなったという実感はない。
下水道使用料は、自治体で決めるものだ。
10%減額は、全住民が唯一、等しく恩恵を受けることができる。
年間の削減額は650万円。現在の財政状況から値上げに早急に対応する必要はない。

賛成

松田悦郎 議員

本来、下水道事業については、独立採算制の原則があり、住民が使用しただけ負担を負うのが基本的な考えである。10%減額というのは、一般会計からの繰り入れであり原則に反している。
また、段階的に引き下げるやり方で消費税増税にも配慮され、全自治会での説明会でも、特段の反対は出なかったと聞いている。
時限的な特例であり、恒久的に続くものではない。

河本 加藤 松井 橋本 田中

5対3

三島 江田 井藤

平成21年4月1日から10%減額されていた公共下水道使用料を、平成30年10月1日より3段階で正規料金に戻していく

- ①平成30年10月～平成31年3月…7%減額
- ②平成31年4月～平成32年3月…6%減額
- ③平成32年4月～平成33年3月…2%減額

原案可決

9月定例会

9月定例会は9月3日に開会し、9月21日に閉会しました。
条例の一部改正・補正予算・29年度決算の認定・教育委員の選任・福祉避難所非常用発電設備工事請負契約などの議案11件と、陳情2件を議決しました。

補正予算



ブロック塀の撤去・改修
200万円

- * 20万円の10件分
- * 希望者が多い場合は補正予算で対応
- * 3分の2を助成、3分の1は本人



火災報知機の購入
120万円

- * 65才以上の独居・高齢者世帯
- * 400世帯×3,000円
- * 委託をせずに消防団が取り付けなどを行う

議論集中!

公共下水道

【議案第37号】

日吉津村公共下水道使用料の特例に関する 条例の一部を改正する条例について

問

わが村で唯一、すべての村民が恩恵を受ける補助である。ぜひ続けてほしいが今、元にもどす理由はなにか。
(加藤議員)

答

特例条例であるので、特例をはずすというもの。いつが適切かと考えて、首長の責任から半年議論し、この機をもって、もどしていく。

問

「家計の判断で使えるお金が減っている。」「全然、景気がよくなったとは思えない。」そういう声は聞こえているか。
(江田議員)

答

7自治会の総会に出席し、説明した。特段、生活が困窮してこの見直しに反対するという意見は聞いていない。

問

3段階ではなく、3年後に経済状況を見ながら、そこで必要があれば上げていくという選択肢はなかったのか。
(井藤議員)

答

10%の減額がいきなりなくなると住民への負担も大きい。来年は消費税が上がるのでその2%分は残す。その後の協議は必要と考えている。

ふるさと
納税

目標2,500万円

返礼品は30%まで

地場産品のみ

補正予算

総務省からの通達で、全国的に激減しているふるさと納税！増額できるか？！

ふるさとチョイス
最新の返礼品の1つ



¥5,000に
チューリップ球根
30球セット

ネット強化で

大幅アップへ！

- *インターネット決済手数料……………50万円
- *ホームページ改修業務委託料……………57万円
- *ふるさと納税返礼品開拓及び
インターネット広告業務委託料……………75万円

一般会計

29年度決算
認定



▲2億2,779万円 体育館にエアコン設備など

災害時避難所
小学校体育館にエアコン

後期高齢者医療会計



後期高齢者医療保険の運営は県広域連合で、保険料の徴収は村が行っています。

国民健康保険事業会計



県への納付金が不足した場合、補填できるよう、5,000万円を基金に積み立てました。

公共下水道事業会計



新規住宅の下水道接続工事等が前年度で終了、歳入歳出総額が前年度比26%減額に。

各会計の歳入歳出決算額

単位：万円

会計別	歳入	歳出
一般会計	26億8,827	25億6,168
国民健康保険事業	4億7,522	4億6,810
後期高齢者医療	4,307	4,305
下水道事業	1億2,202	1億2,194
個人情報保護審査会	107	43

各課の重点施策の説明を受け慎重に審議し、各会計すべてを、全会一致で認定としました。

わが村の家計簿はいま!!

良い事業や施策でも、財政基盤や財政計画がなければ実現できません。
弾力性のある財政構造になっているのかチェックが必要です。



必ず支出しなければならないお金の割合
(経常収支比率) 84.1%

この数字が低いほど弾力的な財政運営ができるといわれています。



家計の余裕度
(財政力指数) 71%

この数値が大きい方が財政力が強いといわれています。



収入に対する借金返済の割合
(実質公債費比率) 9.6%

この指数が25%を超えると、借金することを制限されます。



貯金(残高)
8億4,439万円

自由に使える貯金。他に目的を持たせた基金が8つあり、村民一人あたりの貯金
23万8,192円。



借金の合計(地方債現在高) **24億6,382万円**

(村民一人あたりの借金額 70万1,100円)

【決算審査特別委員会意見】

- ① 沖縄交流は相互交流可能な継続事業として行われたい。
 - ② ヴィンテージを中心としたグループや中高生活動の充実を。
 - ③ 消費生活相談の充実を。
 - ④ 青年就農給付事業終了後の対策を。
 - ⑤ チューリップの委託栽培の拡大を含め、多品種の検討を。
 - ⑥ 小規模保育施設との連携を密に。
 - ⑦ 会計の安易な不能欠損を行わず、納税者に説明できる内容で進められたい。
 - ⑧ 庁舎1階の相談室は使用目的にふさわしい環境整備を。
- 以上を含め、21項目の意見を付しました。

総務経済常任委員会



▲土砂災害被害現場

平成26年に発生した土砂災害被害状況では、行政からの避難指示はなく、悲鳴の中でただ待っている状況であった。
小学校が避難場所になった場合、トイレが児童用であり対策を考えるべきである。また、ボランティアは大変ありがたいが、すべて善良な方ではないことも知っておくべきだなど、被害地域でしか分からないことを多く学んだ。

広島県 三入地区
災害の現状と対策

7月2日（月）



▲力説された社長

君田温泉は第三セクター株式会社として温泉経営をはじめ、福祉センター、林業センター、美術館などの多角経営を行い黒字経営であった。
しかし、高齢化などによる集客の激減や、近くに同様の施設ができたことにより、昨年は赤字となった。対策として平日の集客をより大事にする方針とし、経営の復活を目指し、責任者教育の再徹底を行っている。

三次市
経営の取り組み

7月3日（火）

教育民生常任委員会



▲NPO法人スタッフから説明

神山町で県外からの移住・定住により地域おこしを進めているNPO法人・グリーンバレーを視察した。移住・定住を主眼に、対象をアーティストに絞って働きかけをするなどその効果行政も陰から支援を行っており、成功例として参考になった。

徳島県 神山町
特色あるまちづくり

7月9日（月）



▲人形浄瑠璃を体験

阿波十郎兵衛屋敷で地元で伝承となっている人形浄瑠璃が、まちづくりに活かされている歴史とその背景を視察した。
かつてのように盛況さはないが、現在も住民のサポートとウェブサイトの活用や子どもへの感性に訴える方法により、伝承に努力がはかられていた。

徳島市
芸能伝承を活かす

7月10日（火）

広報広聴常任委員会

▶上位入選 議会だより



町民に親しまれ、読みたくなる議会広報紙の考えや編集マニュアルについて視察した。職員が編集ソフトを使用し、全国コンクールで上位入選されており、とくに表紙のインパクトは参考にした。村では議員自ら編集を行い、広報の取り組みも決して引けをとらないと再確認した。

議会広報活動

北海道 仁木町

8月8日（水）

行財政調査特別委員会



▲仁木町議場

出前講座は平成13年から町内連絡協議会が中心となり福祉、教育、防災など60項目のメニューを実施したが25年を最後に開催されていない。しかし、町民との関係づくりに向かう姿勢は参考にした。高齢者施設や保育施設などは指定管理で行っている。特筆すべきは入所者が減少し、財政上の問題から、父母会が指定管理者として運営している。

出前講座と指定管理

北海道 仁木町

8月8日（水）



▲規制緩和の状況説明

高齢化率41・8%で、要支援が増加している中、小規模多機能型居宅介護の必要性が高まった。現施設では居間と食堂が共用できないため、規制緩和を粘り強く国に働きかけ総合福祉センターが建設中である。小さな自治体でも住民が困っていれば役場職員がみんなで話し合い、住民に奉仕する公務員の姿を見せてもらった。

高齢者福祉施設

島牧村

8月9日（木）



▲研究村通り

恵み野地区では、個人や店の庭を自分で手入れをし、その庭を一定期間解放にするオープンガーデンが実施されていた。研究村通りは、無電柱化されて、一軒当たりの敷地面積が約150坪、三角屋根を造ること、道路側に壁を作らないことが建築条件で、花いっぱい住宅が建ち並んでいた。

オープンガーデン

恵庭市

8月10日（金）

村 政 に

喝



【9月6日(木)】

議員	ページ	質問事項
松田 悦郎	9	1. 危険な道路対策の考えは 2. 生涯スポーツの検討を
井藤 稔	10	1. 子ども安全条例の制定を 2. 議会改革への対応は 3. 迅速な予算執行の配慮は
松本二三子	11	1. 保育無償化は必要な支援か 2. 行政懇談会での要望は通るのか
江田 加代	12	1. 生活保護のしおりの見直しは 2. 中学校教員の勤務実態は

【9月7日(金)】

三島 尋子	13	1. 住民が主役で地域づくりを 2. 女性の社会参画起業家支援を
河中 博子	14	1. 文化の香り豊かな村づくりを
橋井 満義	15	1. 開発公社の土地取引はどうなった 2. 保育所建て替え検討状況は 3. 村独自の婚姻届受理証明書の考えは



松田悦郎 議員

危険な道路対策の考えは

村長 さらなる交通安全対策を考える



▲危険な道路対策はむずかしい

Q 王子製紙正門から下口地区に入る道路は急カーブで道幅が狭いので、車の行き違いや周辺住民も危険がいっぱいである。

この危険な道路対策をどのように考えているのか伺う。

A 村長

質問箇所は急カーブとなっているが、速度制限を30km規制や

道路センターに減速を促す破線の表示、路肩部にポストコーンを設置するなど交通安全対策を実施している。

今の道路を拡幅したり、日野川右岸方向に道路の拡幅をすれば、当然住宅移転も出てくるが、今はそのような判断はしていない。

以前この場所に、バイパス道路をという話

はあったが今は立ち消えになっている。

また、道路側溝に蓋がけの要望もあったが車両が家屋へ突入の危険があり見送りとした。今後は、事故防止のために減速を促す、さらなる交通安全対策を考えていきたい。

生涯スポーツの検討を

教育長 今後も村に合った施策を行う

Q

生涯スポーツとは、村民すべての老若男女が絆を深め自由にニーズをとらえた活動である。

特色ある生涯スポーツや、スポーツ少年団指導者への財政支援も検討されたい。

A

教育長

村民一人ひとりのライフスタイルに応じたスポーツをすることが生きがいにつな



▲指導者は自分の仕事と両立で大変だ

がると考えている。

スポーツ普及活動は競技年齢を問わない取り組みが必要である。

同期生などで行うスポーツは、関係者の要請があれば全面的に応援したい。

このたび、スポーツ推進員支援事業補助金交付要綱を制定した。

この要綱は村に住所を有する個人または団体に対し、中国大会以

上に出場した場合、経費の一部を補助する。

スポーツ少年指導者には、引き続き確保に努めたいが、基本的に

スポーツ少年指導者はボランティアであり補助金は出せないが、できるだけ協力したい。

今後も村に合った施策を行っていきたい。



井藤 稔 議員

子ども安全条例の制定を

村長・教育長

合同点検の 実施を待って検討

Q 先日、小学校児童が下校途中に殺害される事件が発生。再発防止のため国の関係閣僚会議が開催され、「登下校防犯プラン」が示された。

①関係機関との緊急会議や通学路の合同点検は実施されたか。

②判明した防犯上の問題点や推進方針は決定されたか。

③仮称子ども安全条例を制定する必要があるか。

A 村長・教育長

①現在、下校時に児童が一人になる区間を押さえている。9月末までに会議や合

同点検を実施する予定。

②実施後に問題点が明らかになってくる。人目はあるか、時間的にどうかなどを着眼に検討する。

③安全は地域の活性化につながる。今は考えていないが、合同点検の実施を待って検討したい。

いる。理由を承知しているか。

②年1回の調査で、今回が8回目。評価の重点は議会機能の強化。改革に向けた積み上げがあると思うが。

③村の場合、今何が一番重要か。今後の対応は。

A 村長

①子育て世代が議員になりやすくなるため、託児室の利用について改善を図ったことなどと把握している。

②情報の共有など、議会と一緒に進んでいくことが必要と考える。

③常に行政・議会運営

Q

2017年度議会改革度調査の結果が公表された。

①県議会が全国で第3位と高い評価を受けて

議会改革への対応は

村長 一緒に推進していく気持ちが必要



▲ボランティアの心を大切に(中部地震)

の中で、変えていく気持ちが必要と考える。

③予備費の予算額は適正な額と判断しているか。

A 村長

①つど上がるシステムはない。できる、できないも含め、まず担当課が把握し、総務課経由で村長協議に上がってくる。

②執行基準はない。把握がむずかしいが議論をしてみる必要がある。

③当初予算総額の0.2%で周辺町村もほぼ同じ。適正規模と判断。

Q

緊急な村民の要望に対し、迅速・柔軟な予算執行が必要。

①要望が、つど村長まで上がるシステムはあるか。

②予備費の執行基準はあるか。災害ボランティアへの出動補助など

迅速な予算執行の

村長 議論をしてみる必要はある



松本二三子 議員

保育無償化は必要な支援か

村長 村の負担もあり国の動向をまつ



▲みんなの笑顔が守れるように

Q

政府は、来年10月に保育等の無償化を実施予定。

- ① 待機児童増加などの心配から主要都市では反対も多いようだが。
- ② 実施時の、村の対応などは大丈夫か。
- ③ 給食はどうなるのか。
- ④ 消費税増税分が財源なのであれば、保育だけでなく小・中・高校なども支援すべきという声を、どう考えるか。

A

村長

①はつきりとしたことが、まだ国からも示されていない。無償なら預けるとい方もあり、待機児童は増えると考えられる。②システム改修などの心配はないが、不足分の800万円は村での負担となる。1人ずつの金額の計算も必要。③給食費は、無償ではない。

④小学生・中学生にも必要な支援はしている。高校生等にも奨学金などの支援がある。

Q

毎年、各自治会で開催される

「行政懇談会」は行政の話聞くことよりも希望・要望を持って参加される方が多いという声もある。

行政懇談会での要望は通るのか
 村長 要望を聞く場ではない

①どの自治会でも、希望や要望は多いのか。
 ②「行政と直接、話ができる機会」と呼び込みをしているが、参加者が少ないのは期待感が薄いのではないか。
 ③配布される冊子も、変わりばえがしないが再考するべきでは。
 ④行政懇談会での要望は、通り易いのか。

A

村長

①要望などは毎年、自治会要望として各自治会長から出していただいている。もともと行政懇談会は、行政が説明をする場であると考えている。
 ②「行政と直接、話ができる機会」だとは考えている。参加人数が少ないことは、検討していく。
 ③冊子は、いろいろと検討し、変えている。
 ④行政懇談会での意見として、必要な場合は取り入れたりしている。むずかしい時には、自治会長を通じて説明したりしている。



▲次々と意見・要望がでました



▲小田原市・日吉津村の生活保護のしおり



江田加代 議員

生活保護のしおりの見直しは

村長 監査を受け表現等を修正

Q 10月から生活保護費が引き下げになる。政府の説明では、低所得世帯の生活水準に合わせるとのことである。

A 村長の見解を問う。村長 生活保護基準は社会保障審議会で決定される。基準額と一般低所得

世帯の消費水準との均衡を図り、専門的科学的見地によって、定期的に検証されている。

Q 生活に困った方が安心して制度を利用できるように、生活保護を紹介するホームページやしおりを見直す自治体が増えている、村の取り組みは、

Q 生活保護基準は、就学援助など多くの制度に連動している。貧困の拡大につながらない対策が必要と考えるが。

Q 生活保護基準は、就学援助など多くの制度に連動している。貧困の拡大につながらない対策が必要と考えるが。

A 国は、できるだけその影響が及ばない対応を基本にしている。

A 国は、できるだけその影響が及ばない対応を基本にしている。

A ホームページに関しては、制度等の改正があればそのつど修正している。しおりについては、県による生活保護施行事務監査で毎年チェックを受け、表現等の修正を行っている。

A 村長 必要保護に対する就学援助の地方単独事業は、国の趣旨を理解したうえで、各自自治体に判断が任されている。個人住民税の非課税限度額等については、31年度以降の国の税制改革で対応を検討する。

Q 28年度の公立小中学校教員の勤務実態調査速報値を公表。箕蚊屋中学校を含め、米子市内の中学校教員の勤務実態と改善に向けた取り組みは。

A 教育部長 米子市立中学校は村の教育委員会の管轄外であり、村出身の生徒の学校生活の状況や、学習状況を伺うことはできるが、教職員の勤務実態のデータをえることもできないし、教員の勤務実態について答弁する立場にない。



▲先生の“ゆとり”の保障を



三島尋子 議員

住民が主役で地域づくりを

村長 地域の習慣を大事に役割分担



▲「むらづくり講座」学びの多い話でした

Q 今年度改めて、各自治会に職員を配置し、地域コミュニティの活性化に取り組むと発表された。その目的と職員の役割は。

A 村長

16年度より、各自治会でコミュニティ、防災マニュアル作成を支援してきた。近年、地域を支える人材の高齢化やライフスタイルが変化してきている。つながりの場など課題への支援、地域の

習慣を大事に、具体的には、災害時における行政と地域の役割分担などがある。

職員は、地域と行政をつなぐことを側面から支援する。

Q 地域コミュニティの現状は、少子高齢化で役員のなりて不足など課題は多い。何年計画で取り組むのか。

地域づくりに求められるリーダー、人材育成の考えは。

A 村長

独自の取り組みで終期はない。いっしょに進んでいくことが行政の役目である。

人材育成は、互いに協力・連携して、鳥取県活性化センターの協力もえてやっていく。

Q 自治会公民館とヴェルステが連携して事業に取り組むことは、地域活性化に有効ではないか。

教育長

生涯学習の基盤であるコミュニティセンターが、自治会活動と連携することは効果的と考える。

提案については、ぜひ、進めていきたい。

女性の社会参画 起業家支援を

村長 仕事づくり施策に掲げている

Q 地方創生では女性の力は切り



▲今年度のクリーン作戦は自主的な女性の会が担当

離せないとしている。

女性があらゆる分野で活躍できる支援、地方創生による女性起業家支援の考えは。

A 村長

県西部で、特定商業セミナーを開催。

村の起業支援推進柱の一つとして、仕事づくり施策に女性支援を掲げている。村内で起業する人を増やすことを目的とし、性別を特定したものではない。

Q やりがいをもって活動できる環境づくりには、社会教育の役割は大きいと考える。社会教育団体等への意識啓発は。

A 教育長

各団体にしぼった意識啓発は行っていない。

今年度は、男女共同参画事業と連携して、だれもが生きやすい社会の意識啓発に取り組んでいきたい。



河中博子 議員

文化の香り豊かな村づくりを

教育長 本物に触れることが大切

Q 総合計画の中に、ふるさと意識は、文化の再発見、新しい芸術・文化活動の掘り起こしや育成で高まるとある。どう考えているか。

現在、ヴィンステヒえづで、芸術あるいは創作活動の成果を発表しているか。

A 教育長

まず、文化の香り豊かな村づくりについての質問には、共感するところである。現在、ヴィンステヒえづで、芸術あるいは創作活動の成果を発表

していただく機会を、年々増やしてきている。これをまず盛んにしていく。

発表の機会を増やすことで、一人ひとりの創作意欲が高まるようにつとめていきたい。

また、グループ活動が一層さかんになるよう、支援していく。

また、グループ活動が一層さかんになるよう、支援していく。

本物の芸術に触れる機会を作ってはどうか。

A 教育長

子どもたちや村民にとって、香り高い、本物の芸術に出会い鑑賞することは、とても大切だと思う。

Q 鳥取県立博物館では、無料で、地域に出張して本物の館蔵品を見せる「コレクション宅配便」をやっている。

こういう取り組みも必要ではないか。

A 教育長

コレクション宅配便については、ぜひ検討したい。

たとえば夏休みに、ヴィンステヒに著名なアーティストを迎え、

Q 子どもたちに村独自の伝統文化を継承する考えは。

子どもたちや村民にとって、香り高い、本物の芸術に出会い鑑賞することは、とても大切だと思う。

A 教育長

伝統文化の継承はとても大切で、日吉津村に生まれ育ったアイデンティティーの、大事な要素の一つと考

える。

とんどさん、ひのぼりさんなど、昔ながらの年中行事は、ライブ

スタイルの多様化などで継続がむずかしくなった経緯があるが、今は地域の活性化につながるような、活動が必要ではないか。

教育委員会としては、村内行事の記録を残し、いろいろな自治体の取り組みについて情報を収集して、提供していきたいと考えている。

とんどさん、ひのぼりさんなど、昔ながらの年中行事は、ライブ



▲日吉津の匠展 2017.12 ヴィンステヒえづにて



▲とんどさん 新年に祈る



橋井満義 議員

開発公社の土地取引は どうなった

村長 農業委員会の許可後提案したい



▲土地交換される予定地の一部

Q 土地取引について、これまでも明確な答弁がない。改めて次の点を問う。

①土地交渉に関する地図番、価格の提示し説明。また、これらの土地取引の契約はどのようなっているか。
②相手方との覚書を提示し、変更経緯と説明を。

A 村長

①詳細について

ては農業委員会の許可を取らなければならぬので、正確なものを出せない。許可が出れば議会提案をし、議決をえたい。

また、土地取引について仮契約等はしていない。
②覚書については平成元年11月に田園居住区の宅地1万㎡とCCZ区域の宅地6000㎡

を譲渡するものであった。

3年3月には土地の交換に関する一部の変更を行い、同年7月には5号線以北3000㎡の土地と一部変更した。相手との覚書による面積が満たされない現状に至っているが、12月議会に諮って年度内に解決したい。

保育所建て替え
検討状況は

村長 検討委員会で
協議する

Q 保育所建て替えが検討されているが、検討委員募集の結果はどうだったか。

この計画の財源と償還計画また、児童館等との複合施設の考えは。

A 村長

公募委員は2名あり、あと8名は関係団体から選出いた



▲保育所建て替え検討の土地

き10名である。公共施設等総合管理計画に基づき取り組んで行くが、補助金や地方債を適切に活用し行っていく。児童館や子育て支援センターを複合化させ、隣接施設と一体化し連携をはかりたい。今後は検討委員会で協議されるが、洪水による浸水の対応も備えた施設としても考慮しなくてはならないと考えている。

Q 婚姻届受理証明書を村独自の

特徴あるものに、検討できないか。

村独自の婚姻届受理
証明書の考えは
住民課長 手数料などを
ふまえ、検討したい

A 住民課長

上質紙で手数料は高くなるが、検討し対応していきたい。

陳情審査

9月定例会で審査した陳情は次の2件でした。
 審査の結果、1件は不採択、他の1件は採択となりました。

陳情第3号

『沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意思」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情』

陳情者
 沖縄と連帯するとつとりの会
 共同代表
 石田正義・一盛真・伊藤英司

【委員会審査結果】
 賛成多数で**趣旨採択**
 (趣旨採択2・採択1・継続審査1)

賛成
 江田 河中 三島

反対
 井藤 加藤 橋井 松田 松本

不採択

討論

賛成 江田 加代 議員

陳情者の、辺野古の基地問題は民主主義の問題であり、国の地方公共団体に対する関与は、必要最小限のものでなければならぬとする地方自治の本旨に照らして審議を願いたいとの訴えに強く賛同し、賛成する。

反対 加藤 修 議員

沖縄の民意を最大限尊重するのであれば、9月30日投開票の知事選の結果をまっとうして意見書を提出すべきである。

反対 井藤 稔 議員

最高裁での取り消し訴訟が敗訴後、現知事(代行)により、承認後の工事の違法性などを理由に、承認の撤回処分がなされている。「オール日本」の視点で、沖縄の現状に配慮しながら、一つひとつ解決をしていく努力が必要。軽々に判断すべきでない。



▶ 普天間基地



▶ 辺野古沖合

陳情第4号

『教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に意見書採択の要請について』

陳情者

鳥取県教職員組合西部支部
 支部長 西田 周郎
 鳥取県高等学校教職員組合西部支部
 支部長 藤波 敦夫

【本会議審査結果】

全会一致

採択

関係機関に、意見書を提出しました。

村民インタビュー

神社のお世話をする みなさんにお聞きしました



中口博夫さん

高田 知さん

益田俊介さん

上野秀雄さん

神社についての思い出は

みなさん

小学生のころ、神社裏の小高い山で、手作り竹スキーをして遊んだことなどが思い出です。楽しかったですね。

お世話されて、どれくらいですか

中口さん

平成12年の地震で灯籠が倒れ、何かできることがあればと、お世話してきました。

高田さん

神社委員をしたことからです。近年、総代をする人が少なくなっています。

お仕事の内容は

中口さん

正月への準備、新年のかがり火焚き、はまや・おみ

くじ売り、祭りの手伝いなどいろいろです。

文化財登録の感想は

上野さん

8年ほど前から調査をしてきました。建造物全部が登録になる

蚊屋島神社全建造物(8棟)が

国登録有形文化財に



秋冬の四季を感じ、親しんでほしい。

上野さん

この神社の氏子で生まれた人は、どこに行っても死ぬまでは、産土神うぶすながみが守ってくれると言われています。子どもに、神社のことを伝えてほしい。

村や議会へは

みなさん

全部の建物が、国登録文化財になったことのPRをしてほしい。

「議会ひえび」に

みなさん

見やすく編集されている。表紙もいいが、議会ひえびの字体を工夫し、色を明るくすると、なおよくなると思います。

貴重なご意見ありがとうございました。

これからも、よろしくお願ひいたします。

村民へ何か

益田さん

神社にお参りして、春夏

議会のうごき

真町村議会

広報研修会

とき 8月7日(火)
ところ 三朝町 深泉閣



▲各町村の広報紙

広報コンサルタント・議会広報サポーターの吉野政明氏から、住民に読まれ伝わる議会広報紙の基本と編集について指導を受けました。

指導の内容は、県内の14町村で作成された広報紙のクリニクを通じての実践的な指導であり、たいへんわかりやすく、今後の作成に活かせるものでした。



▲今吉地区での放水訓練

西部広域消防圏 連合演習視察

とき 8月19日(日)
ところ 今吉・富吉地内

鳥取県西部消防協会主催の連合演習が7年ぶりに村内で実施され、議員も視察しました。

大火災に発展した場合の、相互応援要領などについて、火災発生場所の消防団を基幹とする訓練であり、見ごたえのあるものでした。

西部町村議会

議員研修会

とき 8月21日(火)
ところ 江府町山村開発センター

一般社団法人ノオト代表理事金野幸雄氏の、講演を聞きました。

同氏は、国土計画などを専門とされ、歴史的建築物を活用した再生事業を推進するかわら、まちづくり専門家会議の委員として活躍中であり、まちづくりのノウハウについて伺いたいへん参考になりました。

なお、講演の前段で松田悦郎議員が自治功労者表彰を受賞されました。



編集後記

蚊屋島神社本殿など境内の8棟が国登録有形文化財へ！主神が2神(伊勢と出雲)祭られる複合社殿で固有性が極めて高い造り！まだまだ、謎も多い！村の大きな宝であり、将来に夢をつなぐうれしいニュースでした。ところで、みなさんの宝や夢は何でしょうか。

みんなの宝や夢を大切にはぐくむ村議会でありたいものです。

—井藤 記—

表紙

ダイヤモンド婚を迎えられた中口さんご夫婦

今回の定例議会は12月です。まっちょーよー!!



「議会広報広聴常任委員会」

松本 三三子・三島 尋子
松田 悦郎・井藤 稔
江田 加代